

◇ 令和7年度視察実績

○ 年間受け入れ数 68件

○ 主な受け入れ項目

順位	受け入れ数	項目	概要
1	12	かごしま環境未来館	鹿児島市の環境学習や環境保全活動の拠点となる施設として、平成20年10月10日に開館。令和元年に宣言した「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、展示を全面的に見直し、令和2年3月20日にリニューアルオープンした。 参加体験型で、環境について楽しく学べる講座・イベントや、団体見学の受け入れなどを行っている。
2	11	天文館図書館	再開発ビル「センテラス天文館」に整備し、まちなかで誰もが気軽に本と触れあうことができるとともに、中心市街地のにぎわい創出につなげることも目的としている。約4万冊の様々な分野の蔵書を備え、セルフ貸出機や座席予約システムなど、ICT機器を活用するほか、利用者層を意識した資料構成や市民活動を支援する取り組みなど、独自の特長をもつ。【令和4年4月9日開館】
3	10	防災／鹿児島市火山防災トップシティ構想	市民と地域、事業者、研究機関・行政が一体となって、桜島に対する総合的な防災力の底上げを図るとともに、最先端の火山防災に取り組む「鹿児島市」を、火山の魅力も交えながら世界に発信することにより、交流人口に加え、関係人口の拡大を図るため、鹿児島市火山防災トップシティ構想を策定。【平成31年3月策定】
4	4	観光農業公園（グリーンファーム）	都市と農村の交流拠点として、平成24年11月にオープン。 農産物直売所や農園レストラン、交流体験館、キャンプ場、遊具、滞在型市民農園などの施設があり、農業体験や調理体験などの各種体験プログラムが楽しめる。 季節ごとのイベントも開催している。
5	3	維新ふるさと館	平成6年4月にオープンし、平成30年1月リニューアルオープン。 幕末の薩摩や日本の様子と明治維新を支えた英雄たちの姿を展示、映像、ゲームなど多彩な演出で分かりやすく紹介しており、楽しく鹿児島の歴史を学ぶことができる。